

## 国分川の放射能除染と緊急対策の要望書

日本共産党松戸・鎌ヶ谷地区委員会

一級河川・国分川の放射能汚染対策については、4月5日の測定会の際に、「緊急要望書」を提出させていただきました。測定会では、地上1メートルの高さで、国の基準値を上回る $1\mu\text{シーベルト/h}$ を超える場所が確認されていましたが、あれから3ヶ月以上がたった7月24日の測定でも、松戸市のホームページによれば、 $1.051\mu\text{Sv}$ (測点3の堤防斜面下)と、依然高い数値のままです。測点2でも、 $0.851$  測定3でも、 $0.980$ ですから、全体として基準を超えているに近い深刻な実態はなんら変わっておらず、これ以上、放置することは許されません。

現在、松戸市によって斜面地の汚染濃度の高い場所には「近寄らないよう立ち入り禁止」の看板が設置され、ホームページなどで定期的に測定値が公表されていますが、不安は全く解消されておりません。根本的な対策が講じられている気配もないことから、行政は何を考えているのかとの声も出ています。

当面は、松戸市管理の国分川ですが、近い将来は県管理になると聞き及んでいることから、政府・県・市が、協議の上で、積極的な対策を一刻も早く講じることが強く求められているのではないのでしょうか。

そこで一刻も早く元の国分川を取り戻すために、以下の点について要望します。

### 記

- 一、国分川の放射能対策については、国・県・市が、きちんと定期的な協議を行うこと。  
松戸市任せにしないこと。
- 一、国分川の放射能汚染の実態について、定期的継続的な調査結果を実施するとともに、今後生態系に及ぼす影響についても専門的な調査を開始すること。
- 一、調査結果については、ホームページでの公表にとどまらず、市県広報なども活用し、広く地元住民や市民、教育関係者に知らせること。
  
- 一、緊急に放射能が高かった斜面部分の除草・除染などの措置をとること。
- 一、国分川の除染について、抜本的な対応策を講じること。
- 一、国分川は一級河川であり、この性格上からしても政府の責任は大きい。よって政府に対しすみやかに、抜本的な対策を講じるよう、強く求めること。

以上

(047-349-1544 連絡先 日本共産党前千葉県議会議員みわ由美)